

まつもと 公民館報



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 21

「盆火」がゆらゆらと…

先祖の霊を送る 伝統行事

8月16日の夜、波田4区町会で「盆火流し」が行われました。

町内を流れる堰せきに、わらで作った三角錐のやぐらに火をつけて流し、先祖の霊を送る行事です。

古くから伝承されている盆火は、かつては子ども会の行事でしたが、最近は大人も一緒になって町会で盛り上げています。

先人たちから伝わったお盆の行事を、これからも伝わっていくことを願いながら…。

集団生活を通して 広がる交流の輪

市内の公民館ではこの夏、小学生を対象とした宿泊を伴う交流会が開催されました。実施した地区の中から梓川地区、庄内地区を紹介します。

三重県御浜町の交流

梓川地区では、平成元年のフルーツ視察をきっかけに、御浜町と友好親善提携を結びました。平成6年には小学5・6年生によるふれあい交流会が開始され、以後毎年交互に訪れて、交流を図っています。この交流会では、山と海互いの地域の自然、伝統や文化の違いを学びあい、友情をはぐくみ、集団生活を通して相互理解を深め、リーダーとしての自覚と資質を養うことを目標としています。

梓川地区では、交流会の事前研修として6月に2回、リーダー研修会を行いました。リーダー研修会ではウォークラリーと調理実習を通して、交流会に臨むためのリーダーシップを養ってきました。8月5日～7日の交流会当

日には、松本市内の散策や、そば打ち体験、果実のもぎ取り体験などが行われ、松本市の文化や特産物を再認識するきっかけにもなりました。

参加した児童からは、他県の児童だけでなく、同じ地区の児童ともより仲良くなることのできた、お互いの文化を伝え合えた、といった感想が寄せられました。

地区内での交流

庄内地区では、8月7日に地区こども会育成会が主体となり、庄内地区公民館の協力のもと、小学6年生を対象にお泊り会が開催さ



れました。今回で3回目を迎えるこの会は、平成23年の長野県中部を震源とする地震を発端としています。

1回目 は、子どもたちに避難所生活の体験をさせようと、庄内

体育館の中に、段ボールを利用して避難所を作り、宿泊しました。今回は、公民館内の部屋に1人1畳分ほどのダンボールを布団の代わりに敷いて眠りました。

庄内地区は、複数の小学校の学区域にまたがっており、お泊り会は地区内の子どもの交流の場という性格も持つようになり、他校の子とも初めて会うのはほとんどでしたが、班



分けから食材の買い出しを経て、夕食作りをするところまでにはすっかり仲良しになっていました。翌朝の反省会では、知らない子と友達になれたことがうれしかったという声が多く挙げられました。

今後の展望

長野県では、公民館などの公共施設に異年齢の子どもたちが寝泊まりし、共同生活を送りながら学校に通う「通学

合宿」を勧めており、国でもその事業に注目しています。現在行われているお泊り会から、さらに一歩進んだ通学合宿へ、各地区の活動が発展していく可能性も見えてきました。今後、松本市内においても広がりをさせていくことでしょう。



フリースク

- A** 最近の修学旅行はホテルの個室に宿泊する学校が多いみたいだよ。
- B** そうなんだ。以前は、旅館の大部屋にクラスみんなで寝たよ。
- C** みんなでまくら投げとかして、楽しかったね。
- A** 小学校の行き先は以前は名古屋が主流だったけど、現在では東京へ行くそうだよ。
- B** 中学校は、以前から奈良と京都に行くよ。
- C** 一部広島に行く学校もあるんだよ。

松本に学ぶ若者たち

名古屋大学・大学院教育発達科学研究科が8月25日～27日の3日間、「社会教育調査実習」として、松本市の公民館で、研修や住民との交流を行いました。

ウォークラリーで地元住民と交流

最終日には、鎌田地区で地元住民との交流を兼ねて「ウォークラリー」が行われました。写真を見ながら、指示された方向へ進み、約4キロメートルのコースを歩きました。地元の人知らない碑を見たり、道祖神の由来を調べたり、細い裏道を歩いたり。住民は若者から笑顔の力をもらって、楽しい交流になりました。

学生たちの感想

名古屋市では現在、公民館活動が少なくなり、地域住民の交流も希薄となって、かつては行われていた運動会や球技大会も開かれなくなってきました。災害時の避難場



一緒に歩いて・考えて課題を解く住民と学生

所は決められているが、万一の際に集まっても、協力して活動ができるのか心配だ」と、ある学生は話していました。

また、「ショッピングモールの改装に際して、何度も勉強会を開催するなど、地域でまちづくりを考えていることや、福祉ひろばに、多くの高齢者が集い、重要な拠点になっていることは、大切な取り組みだ」と話してくれました。この研修は7年続いており、



地域の様子について意見交換

卒業後、研究室での学びを生かして「社会教育」分野の職業に就く人もいます。

松本市での取り組み

松本市は、本年5月から松本大学と協力して、若者を地

域で育て、地域を若者で活性化させるといふ「地域づくりインタナショナルシップ戦略事業」を始めました。

鎌田地区で活動する塚原さんは、「名古屋大学の学生と意見交換が出来て、とても刺激を受け、いい経験になった」と語り、これから観光資源の発掘や地域住民との結びつき、福祉のあり方を勉強して、「将来的には、地域づくりに関係する職業に就きたい」と話してくれました。

奈川地区で活動する松本さんは、昔から作られているエゴマを栽培し、高齢者の生きがい作りを行うプロジェクトを進めています。地域の方への感謝とともに、やりがいを感じているとのこと。

写真でつづる まつもとの今昔②④

～ 松本駅西口 ～



昔

(2002年 写真提供: 日本報道写真連盟)

西口の前にあった自転車の一時預り所。通勤・通学などで利用する人たちが多かった。



今

(2015.8.27 撮影)

松本駅西口再開発事業で新しい街が誕生した。左側に見える小路は現在も残っている。

おこひる

この春、自転車を買った。高校卒業以来、自動車の世話になりっぱなしで、ここ数年は、健康維持にと近場へは歩くようにしていたが、生活上時間短縮の必要に迫られたためである▼それまで気付かなかったが、松本市街は坂道が長い。目的の地への下りは楽に行けるが、帰りは上り続きで足がパンパンに。そう、ここは扇状地に囲まれた盆地で地下水が豊富と小学校で習ったではないか▼さて、各地を走っていると、いろいろなものが目に入る。あがたの森通りには「鉄道給水源跡」と刻まれた石碑がある。国鉄開業当初、蒸気機関車に使う水はここから運んだのだ。源池の井戸の目と鼻の先である。国道158号線にも「開道記念碑」があり、上高地線と言えはこの道を指す▼また松本深志高校北側から信大グラウンドまでの直線道路には、やはり道路整備の経緯を示す石碑があった▼駅前から北へ向かい、旧射撃場跡を右折し、浅間の「やまびこ道路」に至る「こまくさ道路」にも歴史の痕跡があるのである。自転車による発見の続きは当分終わりそうにない。

地域探訪 歩まっつ松本! 25

四賀地区 善光寺街道殿村遺跡コース

善光寺街道は、中山道と北国街道を繋ぐ道で、善光寺や伊勢参り、金毘羅参りなどで賑わった道です。

四賀支所を出発し、面影残る会田宿を散策します。途中知る人ぞ知る四賀名物の落雁「蓬萊糖」四賀のお土産として重宝されています。

店舗からすぐ右手の坂道に入ると、かつて宿であった立派な佇まいの屋敷を何軒か見学します。道中には、善光寺を目指す旅人の案内に役立った、常夜燈（現在はソーラーによる点灯）や石碑石仏を見つけることができます。



このコースは5・3キロ、2時間弱の行程で、神社仏閣が好きでなくても山里の自然に触れることができ、歴史ある遺産を多数見ることが出来る楽しさがあります。とにかく道に迷わないのも利点。

まっつつ坂を上がる善光寺街道沿いには、江戸時代に寺子屋であった、かやぶき屋根が見事な松澤家の長屋門があり、さらに進むと善光寺街道を歩んだ旅の記録「更級紀行」

芭蕉句碑



で詠んだ松尾芭蕉の「身にしてみても大根辛し秋の風」の句碑があります。書は芭蕉の弟子で著名な俳人・櫻井梅室によるものです。さらに街道を登ると、岩井観音堂に到ります。信濃三十三番観音霊場の第二十番札所で、珍しい木造千手観音坐像が祀られています。保存状態が良く、金色が美しいのですが、千手がずり落ちてしまいい、低い位置にあります。

敷地内には岸山に掘られた磨崖仏や三面の石仏、大黒天など貴重な石仏が11体もあるうえ、岩の上から四賀地区を見下ろすことができる絶景にも巡り会うことができます。このコースは自然と歴史に触れることができ、また多くの仏像に出会うことができるため、パワースポット巡りといえるのかもしれませんが、程よい疲れに、パワーを得られること間違いなしです。

「たんしんぼう 単信坊あんころ餅縁日」

わがまち自慢 第7回

9月12日東部地区の桜町公民館裏手で縁日がありました。午後3時頃から大勢の子どもたちで賑わい、もろえのお菓子を選んだり、水風船釣りに興じたりして、最後にあんころ餅をもらってにっこり。さて、なぜあんころ餅なのでしょう。単信坊上人（1656〜1728）は、松本城下北深志に生まれ幼少より念仏道に精進し、行脚僧として一途に人心の救済に心身を捧げ、特に子どもには物心両面より支えとなりました。72歳の夏、子どもが見守る中、大往生しました。その時の上人の遺言は、「我は死すとも子どもらを絶ての病



地産地消のかんたんレシピ

居酒屋の一品

『豚バラとトマトの串焼き』

温められたトマトが甘い!!

材料：豚バラ、ミニトマト、塩、ブラックペッパー、とろけるチーズ、オリーブオイル

1. 豚バラを長いまま湯がく
2. ミニトマトを半分に切った1で巻き、串にさす
3. フライパンにオリーブオイルをひいて2を焼く
4. 塩・ブラックペッパーで味付けする
5. チーズを切って乗せ、中火で溶かす

